

女性のためのワークショップ事業【長野県南箕輪村】

総事業費	426 千円
交付金額	213 千円

地域の実情と課題

伊那地域は、長野県のほぼ中央に位置し、東京・名古屋と地理的にも近く、豊かな自然に恵まれた長野県有数の工業地域である。製造業は男性の就業率が高い業種であり、出産や子育てを迎えた女性は離職をする傾向がうかがえる。このことは、平成27年国勢調査結果から、南箕輪村及び箕輪町における女性の労働力率は全国平均より高いが、25-29歳、30-34歳の年代については全国的にM字カーブが深いことから、多くの女性が結婚・出産期にさしかかる25歳以降、ライフイベントを重ねるにつれて、一時的な離職といった選択を行っていると考えられる。今後の地域の発展のためには、暮らし方や働き方の意識の変革、企業の女性活躍に資する働き方の推進、生産性・豊かさの向上に向けた取組の推進が求められている。

事業の特徴

勉強や技能となる講座を行うだけでなく、ヨガやお菓子作りなどアクティビティを加えることにより、育児から離れて、参加者同士で和気あいあいと活動ができ、気分転換につなげる。

事業の効果

子育て中の女性が人とのかかわりを持ちながら、同じような境遇の人とつながることで、悩み等を共有消化してもらうことができ、育児による社会からの孤立を防ぐことができた。託児付きでパソコンや裁縫講座などを実施したこと、講座だけになると堅苦しくなるため、ヨガやお菓子作りなどアクティビティを加えることにより、育児から離れて、参加者同士で和気あいあいと活動ができ、気分転換にもつながった。

目的・目標

様々な事情で社会とのつながりが持てず、孤独・孤立になってしまっている女性の不安や困難・課題等に寄り添い、集まって話や作業をする中で様々な発見や出会いに繋がり、参加者が前向きな気持ちになれるようなワークショップを開催、参加者同士で和気あいあいと活動ができ、気分転換につなげるようにする。

連携団体

なるべく上伊那地域の企業で働いていたたり、起業している女性に、啓発セミナーの講師をつとめてもらった。

今後の課題

地域コミュニティが希薄な現代社会において、同じ境遇の女性と関わる機会、社会とつながっていると感じる場は、ほとんどないため、今後も継続して実施していく必要がある。

事業の概要

《女性のためのワークショップ事業》

孤独・孤立で不安や困難・課題等を抱える女性に寄り添い、社会とのつながりを回復や居場所づくりのためのワークショップを企画し、実施した。

内容

○パソコン基礎講座×お楽しみワークショップ(9/11・13・25・27 4回)

参加者各15名

○通園バッグを作ろう！ワークショップ
2/14・21 参加者各5人

パソコン基礎講座×お楽しみワークショップ



パソコン基礎講座×お楽しみワークショップの様子



通園バッグを作ろう！ ワークショップ



通園バッグを作ろう！ワークショップ の様子

